

2022年10月31日

各 位

京 都 水 族 館

**「脱炭素化」と「環境配慮」の取り組みを推進
使用するすべての電力を100%再エネ由来で運営
～年間で1,700tのCO₂削減を実現～**

京都水族館（所在地：京都市下京区、館長：松本 克彦）は、このたび、当館で使用するすべての電力を100%再生可能エネルギー由来で調達しますのでお知らせします。

当館は2012年の開業以来、「水と共につながらる、いのち。」をコンセプトとし、環境配慮に向けた取り組みを推進しています。CO₂削減に向け、国内で初めて※1水槽内の水の完全人工海水※2の実現、施設内照明のLED化や太陽光発電システム（イルカスタジアムの屋根部分に設置）の採用など、環境に配慮した運営をおこなっています。また、ミュージアムショップやカフェで使用するプラスチック包材や袋の削減、地球環境やいのちの大切さについて未来を担う子どもたちに伝える活動「AQTION！（アクション）」※3などにも継続して取り組んでいます。



クラゲ展示エリア「GURURI」

このたびの施設の実質再エネ化は、関西電力株式会社（所在地：大阪市北区、社長：森 望）よりトラッキング付きの非化石証書付き※4電力を調達することで実現します。この切り替えにより、CO₂削減量は年間約1,700t※5を見込みます。

京都水族館を運営するオリックス不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：深谷 敏成）は、オリックスグループが制定した「オリックスグループ サステナビリティポリシー」※6に基づき、2021年12月、「脱炭素化」「環境配慮」「安全・安心・快適性」「地域共生」の四つを重点テーマにさまざまな取り組みを推進しています。

京都水族館は、今後も環境に配慮した取り組みを積極的に進めてまいります。

※1 国内初は京都水族館。次いで国内2番目はすみだ水族館。オリックス水族館（株）調べ。

※2 淡水は除く。

※3 [2021年12月20日付プレスリリース：未来の地球にバトンをつなぐ活動「AQTION！（アクション）」](#)

※4 再生可能エネルギー等の非化石電源由来の電気が有する「非化石価値（環境価値）」が証書化され、発電所所在地等の属性情報（トラッキング情報）が付与されたもの。

※5 2021年5月～2022年4月の使用実績に基づく

※6 [オリックスグループ サステナビリティポリシー](#)

以 上

<本件に関するメディアのお問い合わせ先>

京都水族館 企画広報チーム 藤原・白土

TEL：075-354-3116 FAX：075-354-3152 MAIL：press-kyoto@orix-aqua.co.jp

1. 本取り組みの概要

電力切り替え日：2022年10月1日（土）

対 象 施 設：京都水族館

CO₂ 削減量：1,709 t/年（見込み）

※契約者は、オリックス不動産株式会社となります。

2. 京都水族館のサステナビリティの取り組みについて

・完全人工海水

京都水族館は、人工海水製造システムにより、国内で初めて水槽内の水の完全人工海水を実現しました。内陸型の水族館の課題であった、大型車両による海水運搬時に発生するCO₂の発生を抑え、さらに年間を通して一定の水質を維持することが可能になりました。



「京の海」大水槽

・展示水槽の照明をLED化

展示水槽に使用する照明をすべてLED化し、エネルギー使用量を削減しています。

・エネルギーの最適化

BEMS※を導入し、館内すべての設備のエネルギー量の最適化を実施しています。また、太陽光発電や雨水再利用等により、再生可能エネルギーを活用しています。

※Building and Energy Management System、ITを利用して業務用ビルの照明や空調などを制御し、最適なエネルギー管理を行うビル・エネルギー管理システム。

・プラスチックごみの削減

2019年より館内のカフェで使用するプラスチックストローを廃止し、紙ストローを使用しています。ショップではビニール袋から紙袋へ、カフェではプラスチックコップから紙コップへの切り替えなど、環境配慮型資材の採用を順次実現しています。

・「AQTION!」の取り組み

「AQTION!（アクション）」は、水族館から見える課題に対して、水族館としてできるアプローチを地域社会や子どもたちとともに、未来へ向けて取り組む活動です。水族館のいきものたちを間近に感じる事が地球環境やいのちの大切さを思うきっかけとなるような、さまざまなプログラムを展開しています。



里山教室 いきもの観察のようす（イメージ）

【施設概要】

施設名称	京都水族館				
英名	KYOTO AQUARIUM				
運営会社	オリックス不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：深谷 敏成）				
運営業務受託会社	オリックス水族館株式会社（本店：東京都港区、社長：似内 隆晃）				
館長	松本 克彦（まつもと かつひこ）				
開業日	2012年3月14日（水）				
場所	京都市下京区観喜寺町 35-1（梅小路公園内）				
営業時間	午前10時00分～午後6時00分 ※一部の土・日・祝日・特定日は午後8時00分まで ※入場受付は閉館の1時間前まで ※日による変更あり。詳細は、 営業カレンダー をご覧ください。 ※気象状況および貸切営業等により営業時間を変更する場合があります ※入館には人数制限を設けており、混雑状況により整理券を配布させていただく場合がございます。				
休館日	なし（年中無休）※水族館のメンテナンスや気象状況による臨時休業あり				
公式ウェブサイト	https://www.kyoto-aquarium.com				
料金（税込み）	【個人のお客さま】				
		大人	高校生	中・小学生	幼児 (3歳以上)
	一般料金	2,200円	1,700円	1,100円	700円
	※中学生、高校生の方は、チケット売り場で生徒手帳の提示が必要。 ※障がい者手帳をご提示の方とご同伴の方（1名）は、一般料金の半額。				
	年間パスポート	4,400円	3,400円	2,200円	1,400円
	※中学生、高校生の方は、チケット売り場で生徒手帳の提示が必要。 ※障がい者手帳をご提示の方は、年会費が半額。				
	【団体のお客さま】				
	一般団体 (20名以上)	大人 (大学生含む) 2,000円	高校生 1,500円	中・小学生 1,000円	幼児 (3歳以上) 600円
	学校団体 ※引率の教員の方は無料 (一部上限あり)	大人(大学生・ 保護者含む) 1,300円	高校生 1,000円	中・小学生 700円	幼児 (0歳から有料) 400円
	※学校の行事としてのご入場の際しての適用				
アクセス	<徒歩の方> ・「京都」駅中央口より西へ徒歩約 15 分 ・JR 山陰本線「梅小路京都西」駅より東へ徒歩約 7 分 <バスをご利用の方> ・「京都」駅より、京都市バスで約 8 分「七条大宮・京都水族館前」下車、京阪京都交通で約 5 分「七条大宮・京都水族館前」下車、または西日本 JR バスで約 5 分「七条大宮・京都水族館前」下車、土日祝は「東寺・梅小路エクスプレス」が運行 ・阪急「大宮」駅より、京都市バスで約 8 分「七条大宮・京都水族館前」 ・阪急「桂」駅より、京阪京都交通で約 16 分「七条大宮・京都水族館前」 ・京阪「七条」駅より、京都市バスで約 14 分「七条大宮・京都水族館前」 ・地下鉄・JR「二条」駅より、京都市バスで約 13 分「七条大宮・京都水族館前」				
備考	・全館禁煙 ・給湯シンクを備えた授乳室（計 3 カ所） ・おむつ替えコーナー（計 8 台） ・盲導犬などの介助犬の同伴可能				